

国保保険税の賦課、徴収の仕組み(イメージ)

市町ごとの納付金を決定し提示
(医療費水準、所得水準を反映)

県全体	○億円

A市	○億円
B町	○千万円
	⋮

県が各市町が納付金を納めるために
必要な標準保険税率を提示

納付金の提示
標準保険税率の提示
※令和6年1月

県

徴収した保険税等を財源として
納付金を県に支払う

納付金の支払い

市町 市町 市町

保険税の賦課・徴収

県から示された標準保険税率を
参考に、各市町が、保険税率を
決定し、賦課・徴収

納税

納税

納税

賦課

賦課

賦課

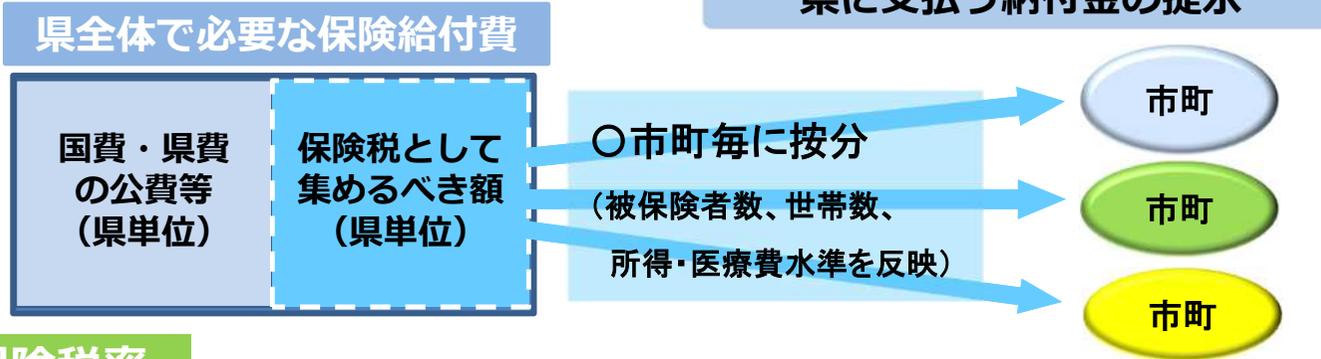
住民

住民

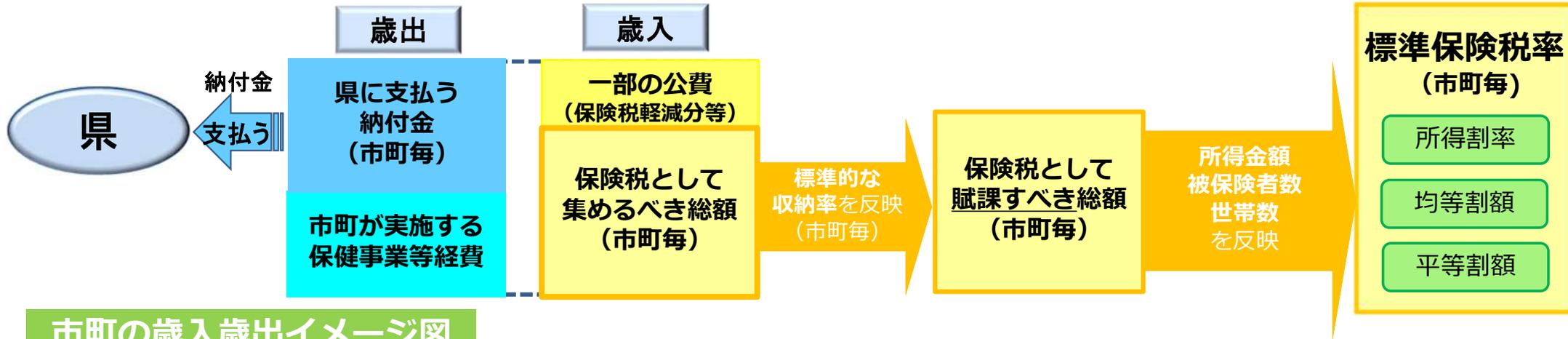
住民

納付金及び標準保険税率の算定と提示

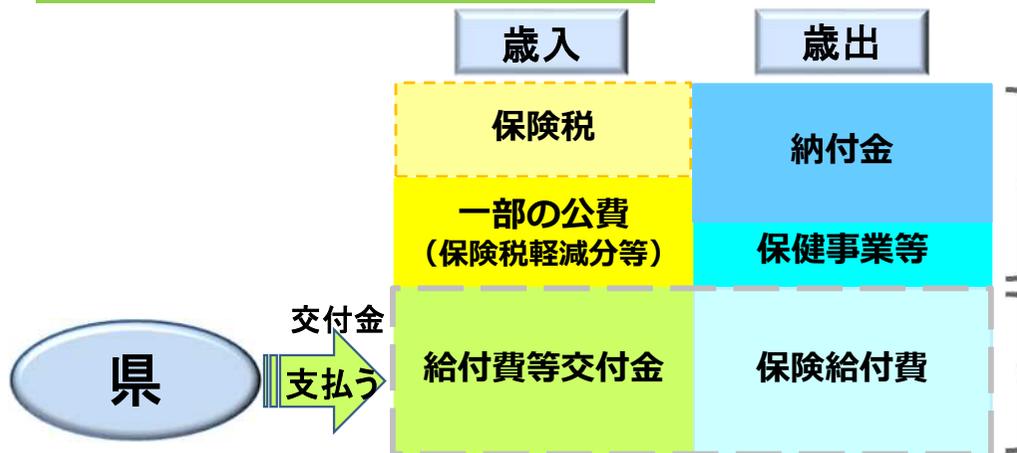
市町毎の納付金額



市町毎の標準保険税率



市町の歳入歳出イメージ図



$$(\text{納付金} + \text{保健事業等}) - \text{一部の公費} = \text{保険税}$$

- 標準保険税率を賦課し、予定収納率分の保険税を徴収することができれば、基本的には赤字は発生しない。

$$\text{給付費等交付金} = \text{保険給付費}$$

- 県から市町へ全額支払う (赤字は基本的に発生しない)